

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	尾道市立御調中学校 全校生徒、護者・地域の方
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 行事名（「オリンピック・パラリンピックについて学ぼう」）
4 目標 (ねらい)	オリンピックの講演会によるオリンピック・パラリンピック教育を実施することを通して、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進し、生徒のスポーツに対する学びを深める。
5 取組内容	講師として元競泳全日本選手 星 奈津美氏を迎え、「オリンピック、パラリンピックについて学ぼう」と題し、星氏の生い立ちから全日本代表選手として活躍するまでの経緯や体験を通して、目標を持つこと、挑戦することの大切さについて講話を聴いた。 事前指導として、講演前日のホームルーム時に講師の紹介を行うことで学習意欲を高め、事後指導として、講演終了後に感想文・アンケートを書かせた。
6 主な成果	テレビ等のメディアを通して学ぶのではなく、実際にオリンピックから話を聞くことで、アスリートがどのような経験や体験を通して現在までに至っているのかを学ぶことができた。また、幼少期から大人、全日本代表になるまで、挫折や病気など、様々な経験を通して成功をつかんできたことを聞いたことから、生徒は、自己の今ある生活が、将来や夢へとつながっていることを身近に感じることができた。 この講話を通して、オリンピックやスポーツに関わる人の目標の立て方やそれに向かう姿勢、努力を学ぶことができた。 そして、スポーツを実施したり、観戦する立場としての意欲や関心を高めたりすることができた。 【アンケート結果(全校)】 ○2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に対する理解・関心が高まりましたか。 →非常にそう思う 43.4% 肯定的回答 92.7% →ややそう思う 49.3% ○オリンピック・パラリンピック並びにスポーツの意義や価値等に対する理解・関心が高まりましたか。 →非常にそう思う 43.4% 肯定的回答 91.4% →ややそう思う 48.0%

7実践において工夫した点 (事業の特色)	事前指導において、オリンピックやパラリンピックについて学ぶこと、講師の活躍やプレーなどを写真や動画で観ることで、講演に対する興味や関心を高め、関連する知識をもった上で参加することができた。
8主な課題等	本事業の開催までに、講師の関わってきたスポーツ種目について深く学ぶ必要がある。本校に来校していただいた講師は、「水泳(競泳)」であったが、本校にはプールがなく、水泳の実技は実施できないため、競技の特性や種目を身近に感じられるようにしておかなければならないと感じた。
9来年度以降の実施予定	本校においては、来年度以降もこの事業を活用し、オリンピック・パラリンピック教育をより深めていく。また、講師の先生を招くことで、生徒のスポーツへの関心を高め、身近に感じられるようにすることで、生涯を通じたスポーツへの関わりについて考え、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにつなげていく。